



無料の文献管理ツール & 研究者ネットワーク
www.mendeley.com

2016.9.14
京都大学様

エルゼビア・ジャパン株式会社
高橋 昭治
s.takahashi@elsevier.com

Empowering Knowledge

本日の講習会

- Mendeleyとは？
 - 文献の追加
 - デスクトップ版
 - ウェブ版
 - デスクトップ版とウェブ版の同期
 - オンラインカタログとSuggest
 - 文献の追加方法のまとめ
 - 文献の利用(ライブラリの管理、PDFビューア、PDFの管理)
 - Wordへの参考文献の挿入
-
- 個人プロフィール、研究者ネットワーク
 - グループの利用
-
- その他のヒント



Mendeleyとは？

① 研究活動の様々な場面を支援

卒業後も使い続けることができます

個人プロフィールを
公開する



様々な方法で文献を
追加する



参考文献を自動的に
作成する



文献を整理し、いつでも
どこでも利用する



他の研究者と
文献を共有する



文献を読み、
注釈を付ける

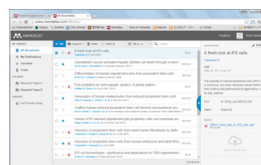


Mendeleyとは？

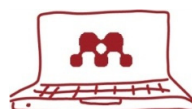
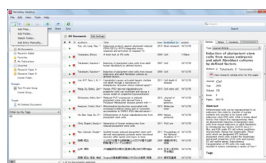
② デスクトップ版とウェブ版を組み合わせ使用

ウェブデータベースとの連携
データのバックアップ

ウェブ版



同期



デスクトップ版
Windows



デスクトップ版
Mac



デスクトップ版
Linux



モバイル版
iOS / Android



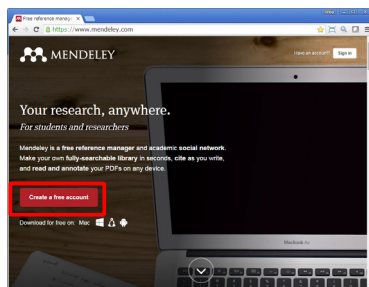
PDFの管理
参考文献リストの作成

いつでも
どこでも

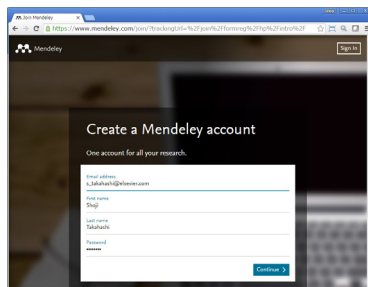
Mendeleyとは？

③ ユーザー登録とデスクトップ版のインストール

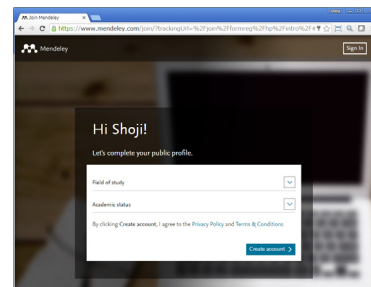
- Mendeleyを利用するにはユーザー登録が必要です。ScienceDirect/Scopusのユーザー名も利用できます。



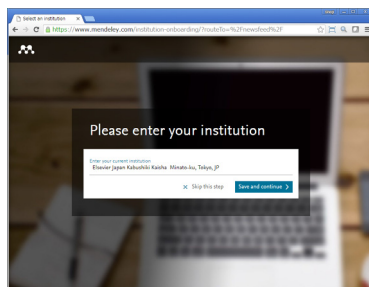
ステップ1: <http://www.mendeley.com> から [Get a free account]



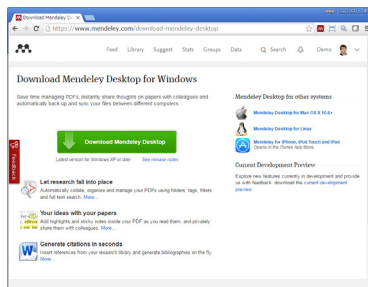
ステップ2: E-mail、First name、Last name、Passwordを入力し、[Continue>]



ステップ3: 分野と肩書を選択し、[Create account>]



ステップ4: 所属機関を入力・選択し、[Save and continue>] または [Skip this step>]



ステップ5: デスクトップ版のプログラムをダウンロードしてインストール (管理者権限が必要)

<http://www.mendeley.com/download-mendeley-desktop>

デモ/実習(1)

本日のデモ/実習で使用するプログラム:

- Mendeleyデスクトップ版 (講師はWindows版を使用)
- Mendeleyウェブ版 (講師はウェブブラウザとしてChromeを使用)
- Word

A. ユーザー登録し、デスクトップ版をインストールする

1. ウェブブラウザで <http://www.mendeley.com> にアクセス
2. [Create a free account] をクリック
3. E-mail、First name、Last name、Password を入力し、[Continue >] をクリック
4. Field of study、Academic status を選択し、[Create account>] をクリック
5. Enter your current institution? で所属機関を入力・選択し、[Save and continue >] をクリック (または [Skip this step >] をクリック)
6. デスクトップ版のプログラムをダウンロードし、インストールを実行

本日の講習会

- Mendeleyとは？
 - 文献の追加
 - デスクトップ版
 - ウェブ版
 - デスクトップ版とウェブ版の同期
 - オンラインカタログとSuggest
 - 文献の追加方法のまとめ
 - 文献の利用(ライブラリの管理、PDFビューア、PDFの管理)
 - Wordへの参考文献の挿入
-
- 個人プロフィール、研究者ネットワーク
 - グループの利用
-
- その他のヒント



文献の追加: デスクトップ版

① デスクトップ版の起動

- デスクトップ版を起動し、E-mail、Passwordを入力してサインイン



☑ Stay signed in をチェックしておくと
オフラインでも利用可能

文献の追加: デスクトップ版

② PDFのインポート、書誌情報の自動抽出

- 個々のPDFやフォルダをドラッグ & ドロップするだけで書誌情報を自動抽出

書誌情報を自動的に抽出

個々のPDF

PDFが入ったフォルダ

文献の追加: デスクトップ版

③ 書誌情報の編集

- 抽出された書誌情報が不完全な場合はマニュアルで編集できます

書誌情報の編集

DOI、PMID、ArXiv IDで検索可能

Author Key: Takahashi2006

Citation Key: Takahashi2006

Date Accessed: 2014-07-09

Day: 25

Month: 8月

URL: <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/16904174>

Catalog IDs

ArXiv ID: 10.1016/j.jcell.2006.07.024

DOI: 0092-8674

ISSN: 16904174

Files:

Takahashi, Yamanaka - 2006 - Induction ...

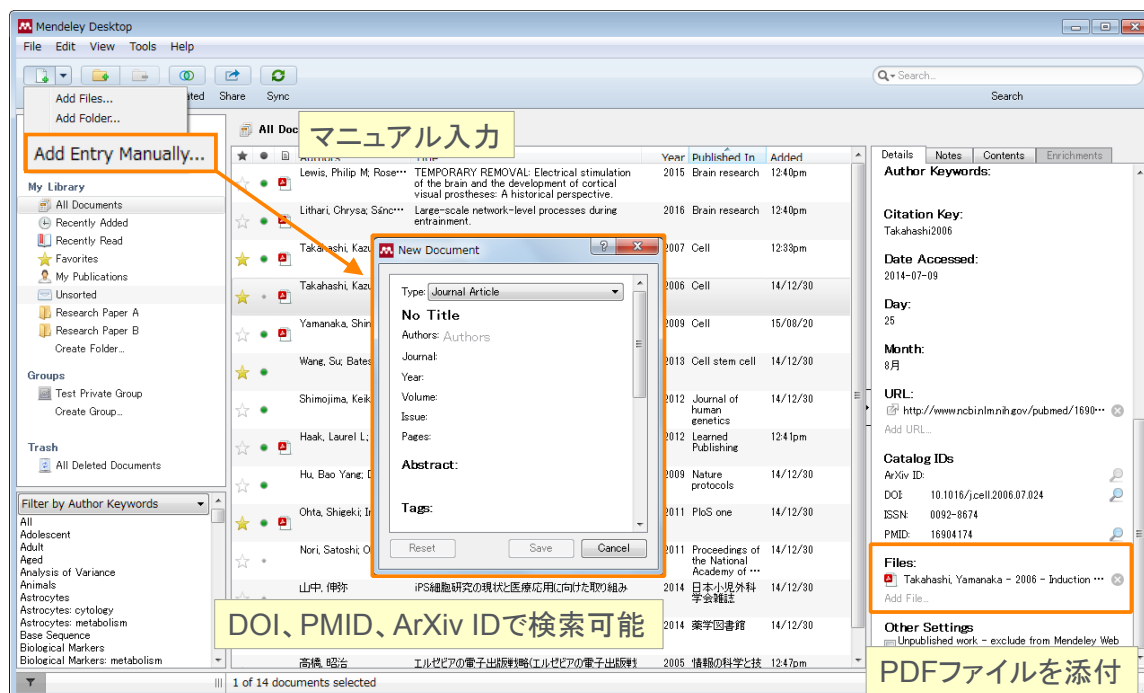
Other Settings

Unpublished work - exclude from Mendeley Web catalog

文献の追加: デスクトップ版

④ マニュアル入力とPDFファイルの添付

- 書誌情報をマニュアルで入力してからファイルを添付

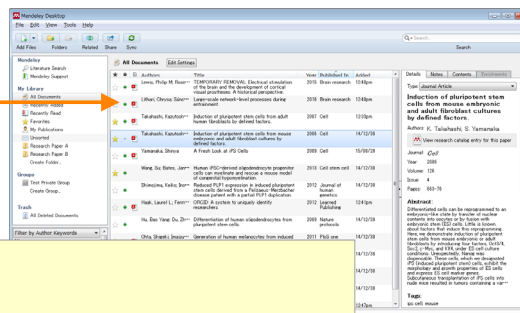
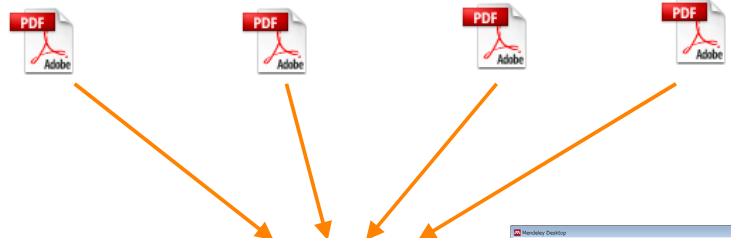


文献の追加: デスクトップ版

⑤ Watched Folderの利用

- PDFの保存フォルダを指定することによって自動的にMendeleyにインポートすることが可能

ScienceDirect Springer PLOS ONE



Watched Folderの設定方法

[File] メニュー → [Watch Folder...]

または

Windows: [Tools] メニュー → [Options] → [Watched Folders] タブ

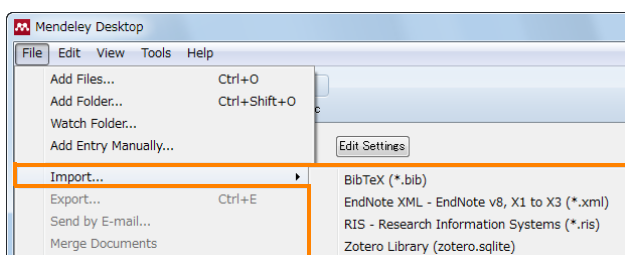
Mac: [Mendeley Desktop] メニュー → [Preferences...] → [Watched Folders] タブ

文献の追加: デスクトップ版

⑥ BibTeX / XML / RIS形式のファイルのインポート

- 他のデータベースや文献管理ツールからBibTeX / XML / RIS形式でエクスポートしたファイルをインポートすることができます

[File] メニュー > [Import...]



- 他の文献管理ツールからエクスポートする方法

- EndNote の場合
 - [File] メニューから [Export...] を選択
 - ファイル形式として XML (*.xml) を選択
- EndNote Basic (Web) の場合
 - [フォーマット] タブから [エクスポート] を選択
 - [レファレンス] ドロップダウンリストからエクスポートするレコードを選択
 - [スタイル] ドロップダウンリストから [RefMan (RIS) Export] を選択
- RefWorks の場合
 - [レコード] メニューから [エクスポート] を選択
 - ファイル形式として (EndNote, Referece Manager, ProCite) を選択

PDFを移行する場合は、
先に書誌情報を移行した後で
PDFをインポートしてください

デモ/実習(2)

A. デスクトップ版を起動する

1. デスクトップ上にあるMendeley Desktopのアイコンをクリックして起動
2. E-mail と Password を入力し、[Sign In] をクリック

B. PDFをデスクトップ版に取り込む

1. PDFを中央欄にドラッグ & ドロップ
2. PDFが入ったフォルダを中央欄にドラッグ & ドロップ
 - 英語論文: 右欄に書誌情報が自動的に取り込まれることを確認
 - 英語論文: 書誌情報が不完全な場合にPMIDで検索できる例を紹介
 - 日本語論文: 書誌情報が不完全である例を紹介 (後で医中誌から書誌情報を取り込む方法を紹介)

C. Watched Folderを使ってPDFを取り込む

1. 以下の方法でWatched Folderを指定
 - Windows/Mac共通: [File] メニュー → [Watch Folder...]
 - Windowsの場合: [Tools] メニュー → [Options] → [Watched Folders] タブ
 - Macの場合: [Mendeley Desktop] メニュー → [Preferences...] → [Watched Folders] タブ
2. 電子ジャーナルのPDFをWatched Folderにダウンロード
 - PDFおよび書誌情報が自動的に取り込まれたことを確認

本日の講習会

- Mendeleyとは？
 - 文献の追加
 - デスクトップ版
 - ウェブ版
 - デスクトップ版とウェブ版の同期
 - オンラインカタログとSuggest
 - 文献の追加方法のまとめ
 - 文献の利用(ライブラリの管理、PDFビューア、PDFの管理)
 - Wordへの参考文献の挿入
-
- 個人プロフィール、研究者ネットワーク
 - グループの利用
-
- その他のヒント

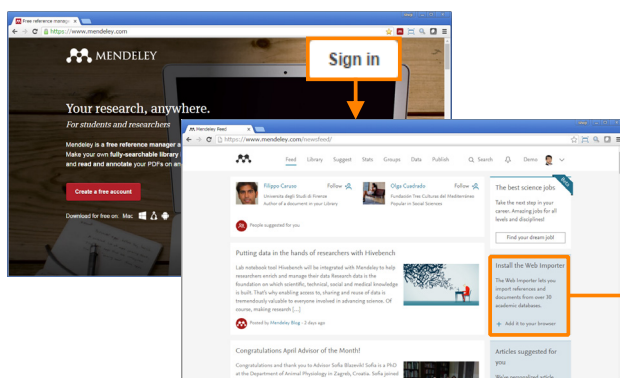


文献の追加: ウェブ版

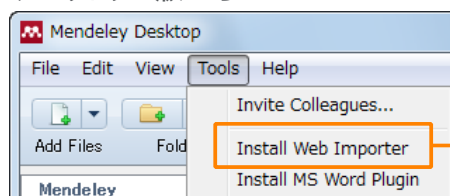
① Web Importerのインストール(1)

- Web Importerを使うと、各種データベースから文献を取り込むことができます

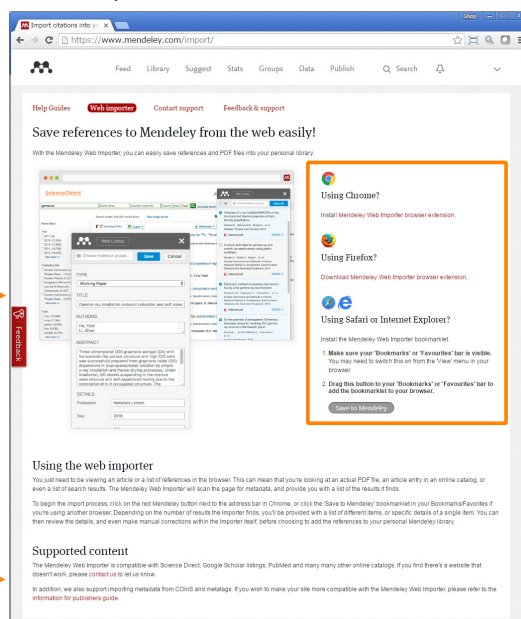
ウェブ版から



デスクトップ版から



Web Importerインストールページ



<http://www.mendeley.com/import>

文献の追加: ウェブ版

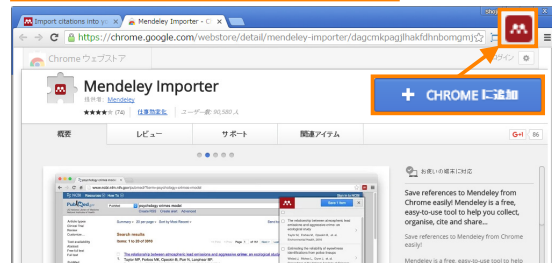
② Web Importerのインストール(2)

Chrome、FireFox:
ブラウザエクステンションをインストール



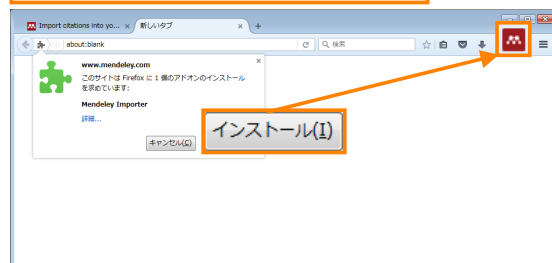
Using Chrome?

Install Mendeley Web Importer browser extension.

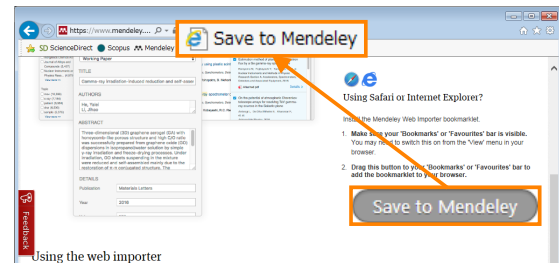


Using Firefox?

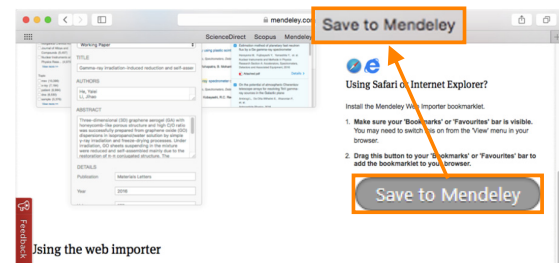
Download Mendeley Web Importer browser extension.



Internet Explorer、Safari:
ブックマークレットをツールバーにドラッグ & ドロップ
※ Safari は近日中にブラウザエクステンションに切り替わる予定



Using the web importer

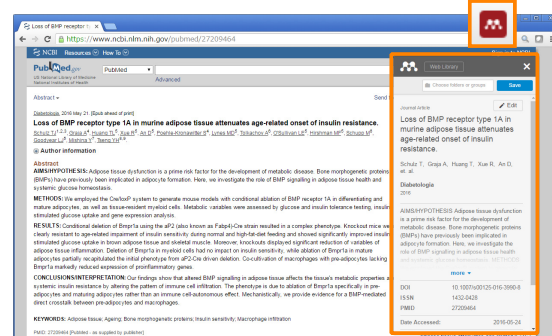


Using the web importer

文献の追加: ウェブ版

③ Web Importerによる文献のインポート (Chrome、FireFox)

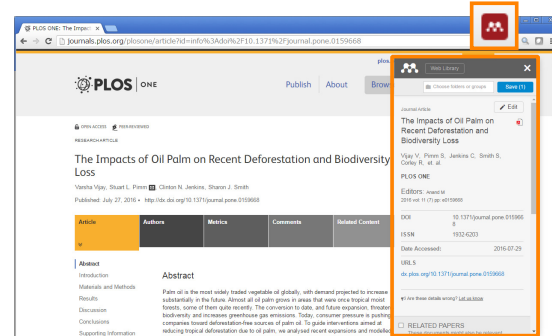
- 論文ページ、検索結果ページから利用できます (論文ページにのみ対応している場合あり)



PubMed (論文ページ)



PubMed (検索結果ページ)



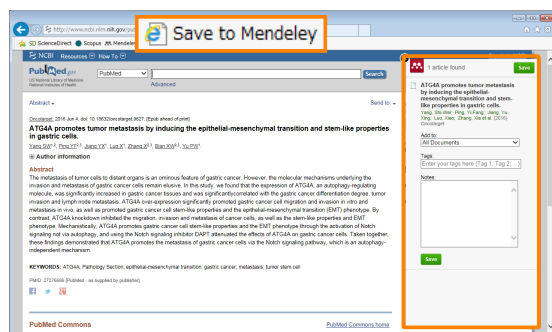
PLoS One (論文ページ)



文献の追加: ウェブ版

④ Web importerによる文献のインポート (Internet Explorer, Safari)

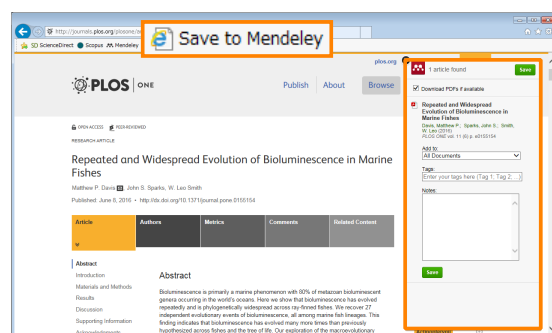
- 論文ページ、検索結果ページから利用できます (論文ページにのみ対応している場合あり)



PubMed (論文ページ)



PubMed (検索結果ページ)

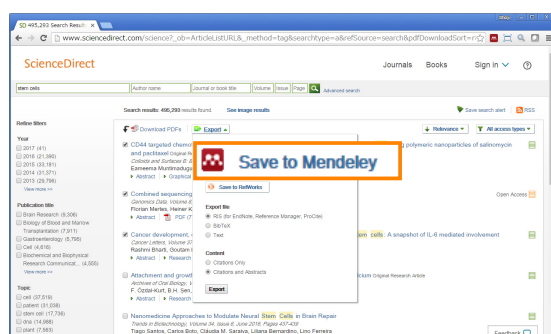


PLoS One (論文ページ)

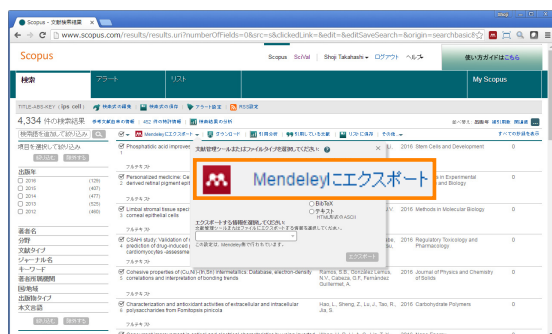
文献の追加: ウェブ版

⑤ Mendeleyへのダイレクトエクスポート

- 製品内にMendeleyへのダイレクトエクスポートのメニューが用意されている場合があります



ScienceDirect



Scopus



CINI



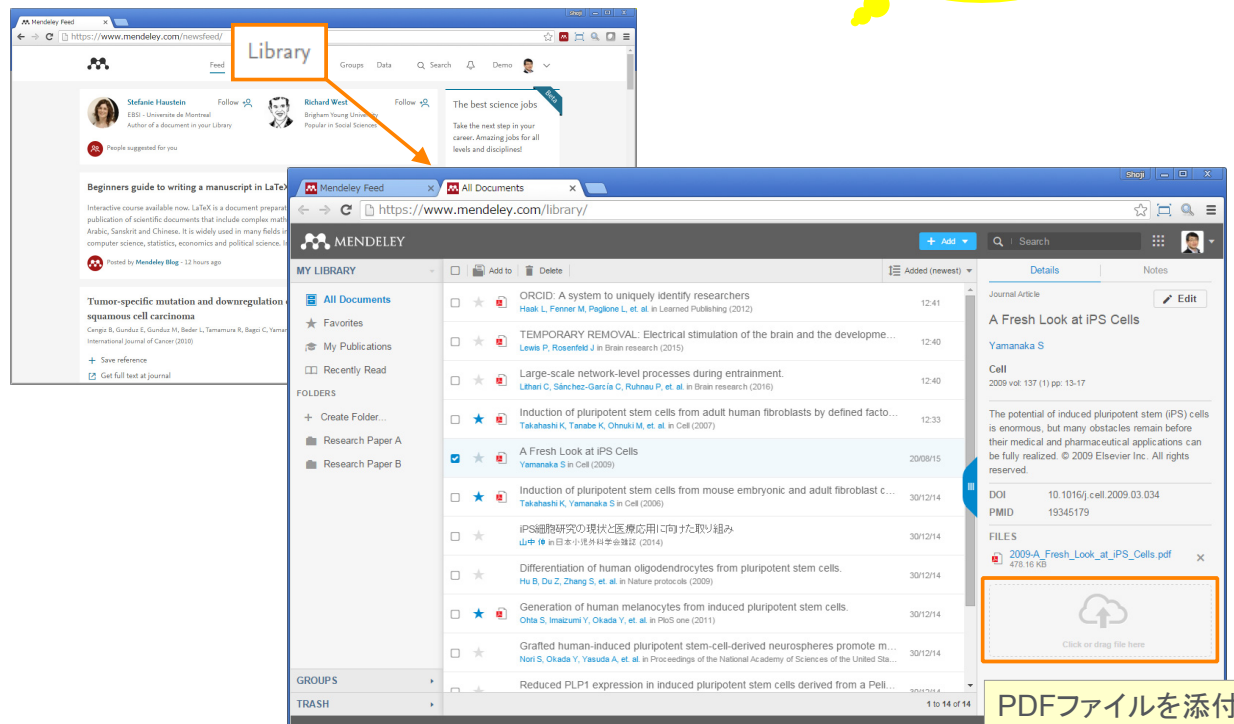
医中誌Web

文献の追加: ウェブ版

⑥ My Library

- 追加した文献は [Library] タブで確認できます

デスクトップ版My Libraryの
基本的な機能を利用可能



デモ/実習(3)

A. ウェブ版にサインインし、Web Importerをインストールする

- ウェブブラウザで <http://www.mendeley.com> にアクセス
- 右上の [Sign in] から E-mail と Password を入力し、サインイン
- ホームページ (Feed ページ) 右側の [Install the Web Importer] をクリック
- Web Importer をインストール
 - Chrome、FireFox の場合: ブラウザエクステンションをインストール
 - Internet Explorer、Safari の場合: ブックマークレットをツールバーにドラッグ & ドロップ

B. Web Importerを使って文献を追加する

- 論文ページまたは検索結果ページで Web Importer を実行
 - Chrome、FireFox の場合: ブラウザエクステンションのアイコンをクリック
 - Internet Explorer、Safari の場合: ツールバーの [Save to Mendeley] をクリック
- ポップアップウィンドウが現れるので、必要な文献を保存
- ウェブ版の [Library] をクリックして文献が取り込まれたことを確認

注: 論文ページのみで機能し、検索結果ページではうまくいかない場合があります

C. ダイレクトエクスポートのメニューを使って文献を追加する

- ScienceDirect の場合: [Export] → [Save to Mendeley]
- Scopus の場合: [Download] → [Mendeley]
- CiNii の場合: [Mendeleyに書き出し]
- 医中誌Web の場合: [ダイレクトエクスポート] → [Mendeley]

本日の講習会

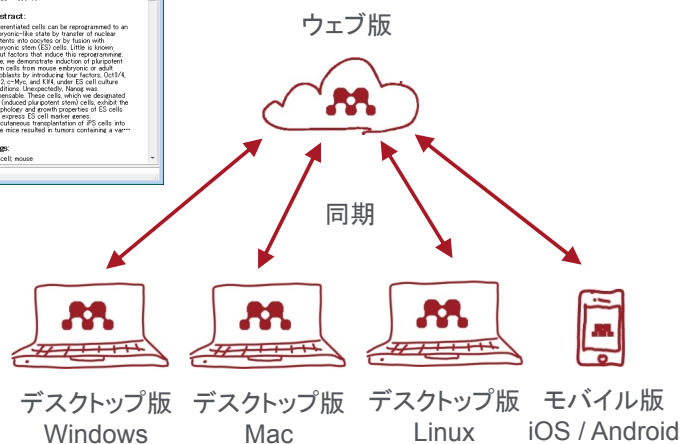
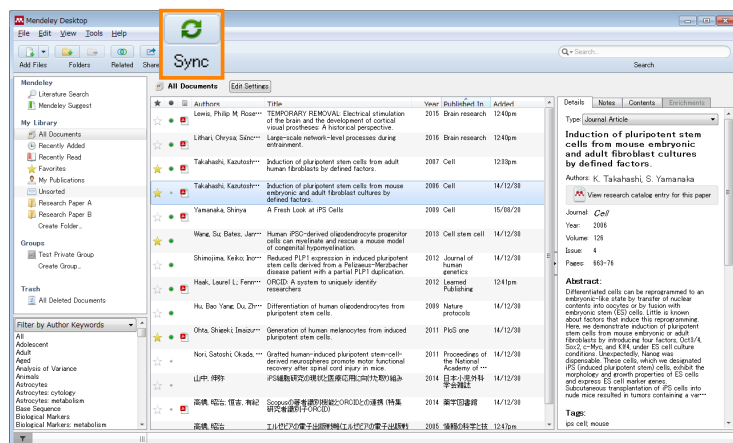
- Mendeleyとは？
 - 文献の追加
 - デスクトップ版
 - ウェブ版
 - デスクトップ版とウェブ版の同期
 - オンラインカタログとSuggest
 - 文献の追加方法のまとめ
 - 文献の利用(ライブラリの管理、PDFビューア、PDFの管理)
 - Wordへの参考文献の挿入
-
- 個人プロフィール、研究者ネットワーク
 - グループの利用
-
- その他のヒント



デスクトップ版とウェブ版の同期

① 同期によってどこからでも同じ環境を利用可能に

- デスクトップ版の起動時に自動的に同期、または [Sync] ボタンで同期



デスクトップ版とウェブ版の同期

② 空きディスク容量の確認、同期方法の指定

- 無料版ではウェブ版のディスク容量を2GBまで利用できます

添付ファイルの同期方法
ウェブ版と同期をとるフォルダの指定
※ 初期設定では全フォルダ

ウェブ版の空きディスク容量の確認

Save & sync

デモ/実習(4)

A. デスクトップ版とウェブ版を同期する

- デスクトップ版の [Sync] ボタンをクリック
→ デスクトップ版とウェブ版で文献が同期されたことを確認
- デスクトップ版の [Edit Settings] をクリックし、ウェブ版の空きディスク容量と同期方法を確認

本日の講習会

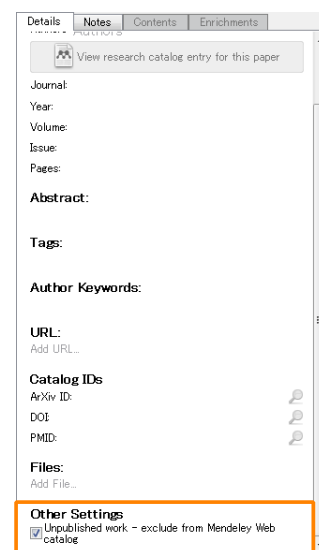
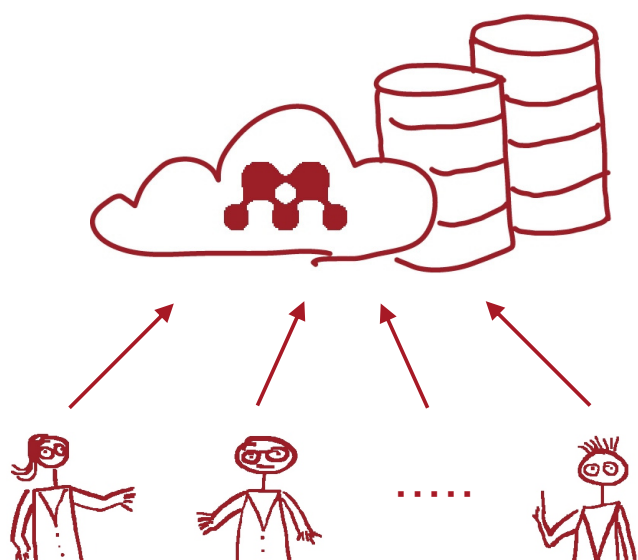
- Mendeleyとは？
 - 文献の追加
 - デスクトップ版
 - ウェブ版
 - デスクトップ版とウェブ版の同期
 - オンラインカタログとSuggest
 - 文献の追加方法のまとめ
 - 文献の利用(ライブラリの管理、PDFビューア、PDFの管理)
 - Wordへの参考文献の挿入
-
- 個人プロフィール、研究者ネットワーク
 - グループの利用
-
- その他のヒント



オンラインカタログとSuggest

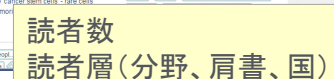
① 世界のユーザーのライブラリ情報をクラウドに収集

- 登録した文献情報は「匿名」でオンラインカタログに索引付けされます



オンラインカタログに索引付けされたくない場合は [Unpublished work] をチェック

- 世界中のユーザーが登録した文献をオンラインカタログとして検索することができます。



- ユーザー別にカスタマイズしたおすすめ論文

- ・自分のライブラリ内の論文に基づいたおすすめ
- ・自分の分野に基づいたおすすめ
- ・最後に追加した論文に基づいたおすすめ



デモ/実習(5)

A. オンラインカタログとSuggest

1. ウェブ版の [Q Search] → [Papers] でオンラインカタログを検索
2. ウェブ版の [Suggest] で、ユーザー別にカスタマイズされたおすすめ論文を表示

本日の講習会

- Mendeleyとは？
 - 文献の追加
 - デスクトップ版
 - ウェブ版
 - デスクトップ版とウェブ版の同期
 - オンラインカタログとSuggest
 - 文献の追加方法のまとめ
 - 文献の利用(ライブラリの管理、PDFビューア、PDFの管理)
 - Wordへの参考文献の挿入
-
- 個人プロフィール、研究者ネットワーク
 - グループの利用
-
- その他のヒント



文献の追加方法のまとめ

文献管理のスタイルや利用するデータベースによっておすすめの利用方法が異なります

1. 英語のPDFを中心に利用 → デスクトップ版にPDFをインポート
 - 必要に応じて書誌情報をマニュアルで修正
 - DOI、PMID、ArXiv IDで書誌情報を検索することも可能
2. 日本語のPDFも利用 → ウェブ版でCiNiiや医中誌Webから書誌情報をインポート
 - その後PDFをアップロード、または同期後にデスクトップ版でPDFを添付
3. 特定のデータベースから検索開始 → ウェブ版でデータベースから書誌情報をインポート
 - その後PDFをアップロード、または同期後にデスクトップ版でPDFを添付
4. Mendeleyオンラインカタログで検索
 - 注: 最新の情報は収録されていない可能性あり

本日の講習会

- Mendeleyとは？
 - 文献の追加
 - デスクトップ版
 - ウェブ版
 - デスクトップ版とウェブ版の同期
 - オンラインカタログとSuggest
 - 文献の追加方法のまとめ
 - 文献の利用(ライブラリの管理、PDFビューア、PDFの管理)
 - Wordへの参考文献の挿入
-
- 個人プロフィール、研究者ネットワーク
 - グループの利用
-
- その他のヒント



文献の利用

① ライブラリの管理

- 検索、並べ替え、フォルダを活用し、必要な文献を容易に探すことができます

フォルダ
(新規作成、最近追加、最近表示、お気に入り、発表論文)

並べ替え
(著者名、タイトル、出版年、出版物、追加日)

ライブラリ内の検索

お気に入り
★ 未読
PDFあり
ウェブからPDFをダウンロード可能

タグの付与

文献のフィルタ
(著者キーワード、著者名、タグ、出版物)

Authors	Title	Year	Published In	Added
Lewis, Philip M. Rose...	TEMPORARY REMOVAL: Electrical stimulation of the brain and the development of cortical visual prostheses: A historical perspective.	2015	Brain research	12:40pm
Lithari, Chrysa; Sinc...	Large-scale network-level processes during engraftment	2016	Brain research	12:40pm
Takahashi, Kazutoshi...	Induction of pluripotent stem cells from adult human fibroblasts by defined factors.	2007	Cell	12:33pm
Takahashi, Kazutoshi...	Induction of pluripotent stem cells from mouse embryonic and adult fibroblast cultures by defined factors.	2006	Cell	14/12/30
Yamanaka, Shinya	A Fresh Look at iPS Cells	2009	Cell	15/08/20
Wang, Su; Bates, Jan...	Human iPS-derived oligodendrocyte progenitor	2013	Cell stem cell	14/12/30
Shi...				
Has...				
Hu...				
Oht...				
Nori, Satoshi; Okada...	Grafted human-induced pluripotent stem-cell-derived neurospheres promote motor functional recovery after spinal cord injury in mice.	2011	Proceedings of the National Academy of ...	14/12/30
山中, 伸弥	iPS細胞研究の現状と医療応用に向けた取り組み	2014	日本小児外科学会雑誌	14/12/30
高橋, 昭吉; 恒吉, 有紀	Scopusの著者識別機能とORCIDとの連携 (特集 研究者識別子ORCID)	2014	薬学図書館	14/12/30
高橋, 昭吉	エルゼビアの電子出版戦略(エルゼビアの電子出版戦略)	2005	情報の科学と技	12:47pm

Abstract:
Differentiated cells can be reprogrammed to an embryonic-like state by transfer of nuclear contents into oocytes or by fusion with embryonic stem (ES) cells. Little is known about factors that induce this reprogramming. Here, we demonstrate induction of pluripotent stem cells from mouse embryonic or adult fibroblasts by introducing four factors, Oct3/4, Sox2, c-Myc, and Klf4, under ES cell culture conditions. Unexpectedly, Nanog was dispensable. These cells, which we designated iPS (induced pluripotent stem) cells, exhibit the morphology and growth of ES cells, express ES cell markers, and induce ES cell-like gene expression in iPS cell marker genes.

Tags:
ips cell mouse

Author Keywords:

Citation Key:
Takahashi2006

Date Accessed:
2014-07-09

Day:

文献の利用

② PDFビューア

- PDFにハイライトや注釈を付けることができます

PDF内の検索

文庫に対するノート
(ライブラリの検索対象)

PDF内の注釈
(ライブラリの検索対象外)

テキストを選択後、ハイライト、注釈、コピー

PDF内の検索

文庫に対するノート
(ライブラリの検索対象)

PDF内の注釈
(ライブラリの検索対象外)

Summary:
Differentiated cells can be reprogrammed to an embryonic-like state by transfer of nuclear contents into oocytes or by fusion with embryonic stem (ES) cells. Little is known about factors that induce this reprogramming. Here, we demonstrate induction of pluripotent stem cells from mouse embryonic or adult fibroblasts by introducing four factors, Oct3/4, Sox2, c-Myc, and Klf4, under ES cell culture conditions. Unexpectedly, Nanog was dispensable. These cells, which we designated iPS (induced pluripotent stem) cells, exhibit the morphology and growth of ES cells, express ES cell markers, and induce ES cell-like gene expression in iPS cell marker genes.

Introduction:
Embryonic stem (ES) cells, which are derived from the inner cell mass of mammalian blastocysts, have the ability to grow indefinitely while maintaining pluripotency and the ability to differentiate into cells of all three germ layers.

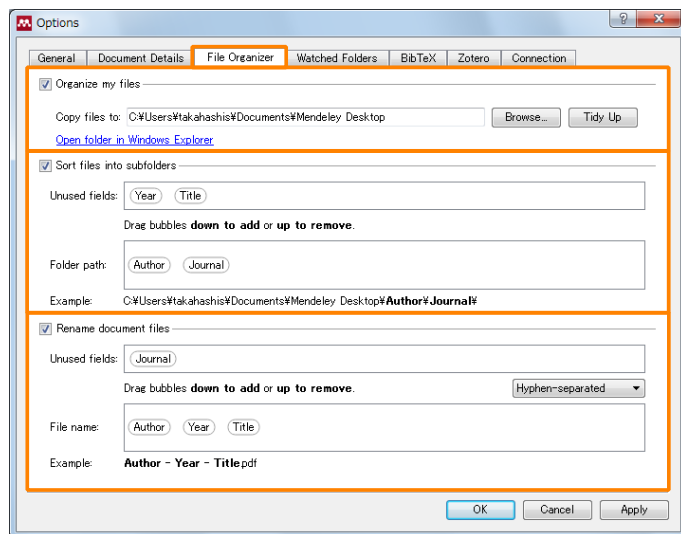
Results:
We selected 24 genes as candidates for factors that induce pluripotency in somatic cells, based on our

文献の利用

③ PDFの管理

様々な場所に分散しているPDFを
1つのフォルダーにまとめることが
できます。

- Windows: [Tools] メニュー → [Options] → [File Organizer] タブ
- Mac: [Mendeley Desktop] メニュー → [Preferences...] → [File Organizer] タブ



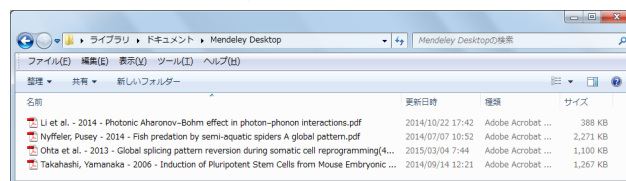
PDFを1つのフォルダにまとめてコピー

PDFをサブフォルダに分類

PDFを自動命名

※ 初期設定はすべてOFF

自動命名で Author - Year - Title を指定した例



デモ/実習(6)

A. ライブラリの文献を管理

1. ライブラリの各種操作(検索、並べ替え、フォルダ、タグ、フィルタ)を確認
2. PDFを開き、PDFビューアの各種機能(検索、ハイライト、注釈、色の変更)を確認する

B. 取り込んだPDFをコピーし、一定のルールで命名する

1. 以下の方法でFile Organizerを開く
 - Windowsの場合: [Tools] メニュー → [Options] → [File Organizer] タブ
 - Macの場合: [Mendeley Desktop] メニュー → [Preferences...] → [File Organizer] タブ
2. File Organizerの [Organize my files] → [Copy files to:] でPDFのコピー先のフォルダを指定
→ フォルダにPDFがコピーされたことを確認
3. File Organizerの [Rename document files] で命名ルールを指定
→ フォルダ内のPDFの名前が変更されたことを確認

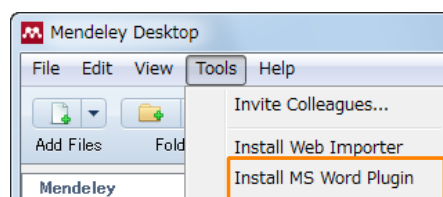
本日の講習会

- Mendeleyとは？
 - 文献の追加
 - デスクトップ版
 - ウェブ版
 - デスクトップ版とウェブ版の同期
 - オンラインカタログとSuggest
 - 文献の追加方法のまとめ
 - 文献の利用(ライブラリの管理、PDFビューア、PDFの管理)
 - Wordへの参考文献の挿入
-
- 個人プロフィール、研究者ネットワーク
 - グループの利用
-
- その他のヒント



Wordへの参考文献の挿入

① MS Word Pluginのインストール



Windows:

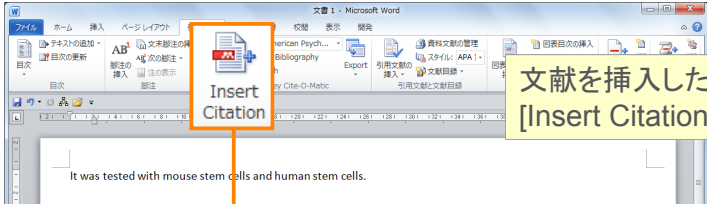


Mac:

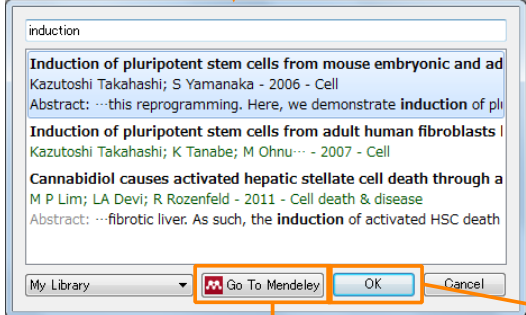


Wordへの参考文献の挿入

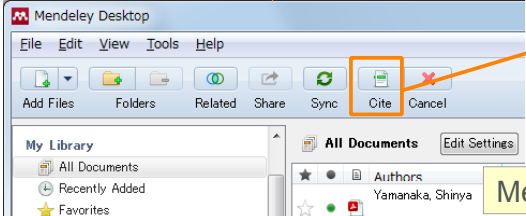
② 文献符号の挿入



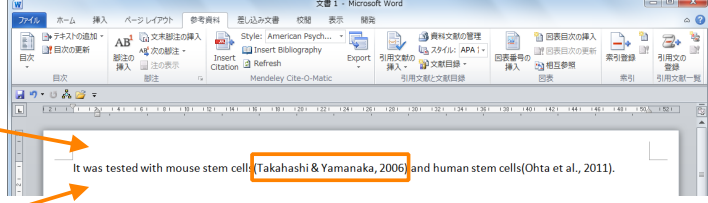
文献を挿入したい個所で
[Insert Citation] をクリック



ポップアップウィンドウで検索して [OK]



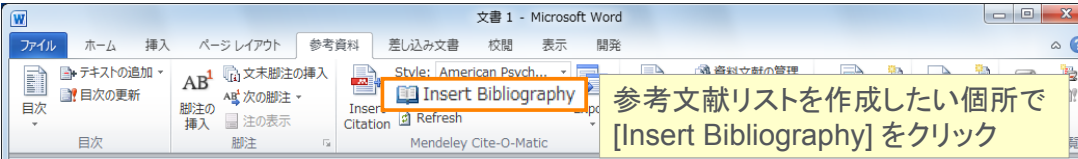
Mendeley本体で検索して [Cite]



文献符号が挿入される

Wordへの参考文献の挿入

③ 参考文献リストの作成



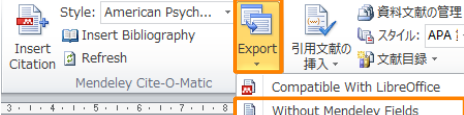
参考文献リストを作成したい個所で
[Insert Bibliography] をクリック

It was tested with mouse stem cells(Yamanaka & Takahashi, 2006) and human stem cells(Park et al., 2008).

References

Park, I.-H., Zhao, R., West, J. A., Yabuuchi, A., Huo, H., Ince, T. A., ... Daley, G. Q. (2008). Reprogramming of human somatic cells to pluripotency with defined factors. *Nature*, 451(7175), 141–6. doi:10.1038/nature06534

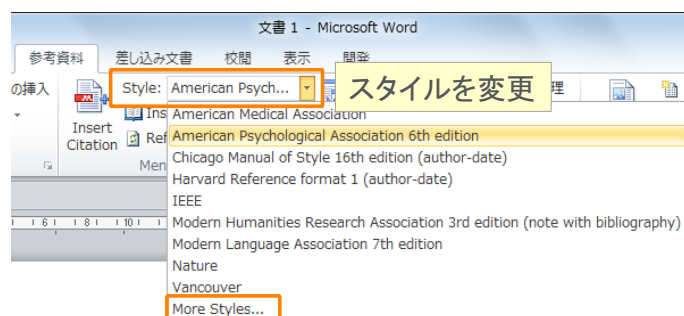
Yamanaka, S., & Takahashi, K. (2006). Induction of pluripotent stem cells from mouse fibroblast cultures. *Tanpakushitsu Kakusan Koso Protein Nucleic Acid Enzyme*, 51, 2346–2351. Retrieved from <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/18181945>



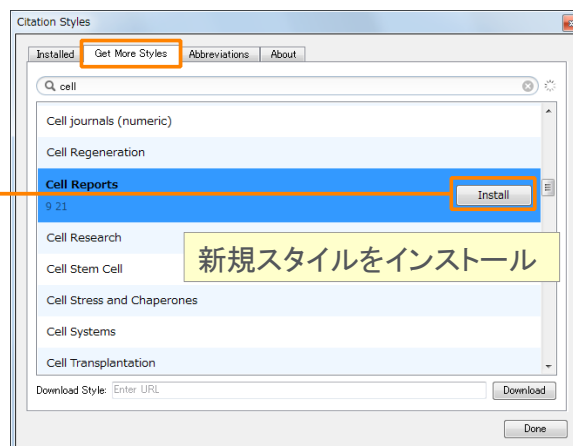
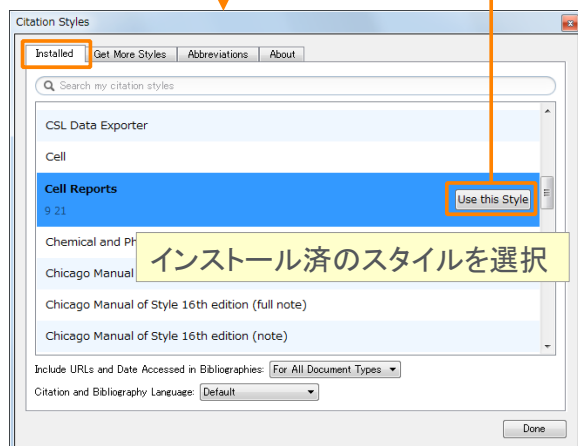
Mendeleyとのリンクを解除した
ファイルを作成

Wordへの参考文献の挿入

④ 参考文献スタイルの変更

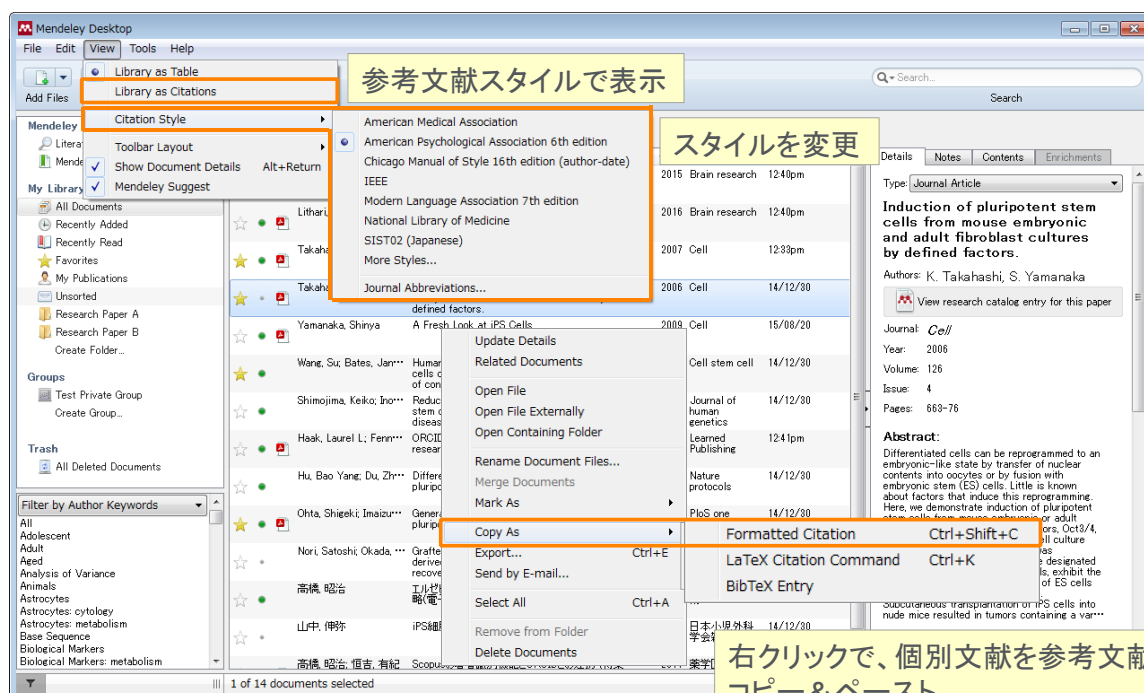


日本語の参考文献スタイル
SIST02も利用できます
スタイルはCSL Editorを
使用して編集可能



Wordへの参考文献の挿入

⑤ 参考文献スタイルで表示、個別文献のコピー＆ペースト



デモ/実習(7)

A. Word文書に参考文献を挿入

1. デスクトップ版からMS Word Pluginをインストール
→ Wordを開き、MS Word Pluginがインストールされていることを確認
2. Wordに適当な文書を入力し、参考文献を挿入
 - [Insert Citation] をクリック
 - ポップアップウィンドウで検索するか、[Go to Mendeley] をクリックしてMendeley内で検索
3. Word文書の最後に参考文献リストを挿入
 - [Insert Bibliography] をクリック
4. Styleプルダウンリストから他のスタイルを選択
→ 参考文献スタイルが変更されたことを確認
5. Styleプルダウンリストに表示されていないスタイルを [More Styles...] から検索

デモで使用するスタイルの例:

- American Psychological Association 6th edition (初期設定) ... 第一著者のアルファベット順
- Nature ... 論文の中に現れた順

本日の講習会

- Mendeleyとは？
 - 文献の追加
 - デスクトップ版
 - ウェブ版
 - デスクトップ版とウェブ版の同期
 - オンラインカタログとSuggest
 - 文献の追加方法のまとめ
 - 文献の利用(ライブラリの管理、PDFビューア、PDFの管理)
 - Wordへの参考文献の挿入
-
- 個人プロフィール、研究者ネットワーク
 - グループの利用
-
- その他のヒント



個人プロフィール、研究者ネットワーク

① 個人プロフィールの編集、発表論文の公開

- 個人のホームページとして発表論文を公開することができます

名前をクリックしてプロフィールの編集ページを表示

E-mail、Password、肩書などを変更

プロフィール情報の公開範囲を設定

各種情報を編集

発表論文を追加

デスクトップ版で追加することも可能

個人プロフィール、研究者ネットワーク

② 他の研究者の検索

- Mendeleyに登録している他の研究者をフォローし、その活動を見ることができます

検索

フォローする

発表論文

フォローしている研究者や参加しているグループの活動が表示されます

デモ/実習(8)

A. 個人プロフィール、研究者ネットワーク

1. ウェブ版の [Q Search] → [People] で他の研究者を検索
2. ウェブ版の名前をクリックし、個人プロフィールの編集ページを表示

本日の講習会

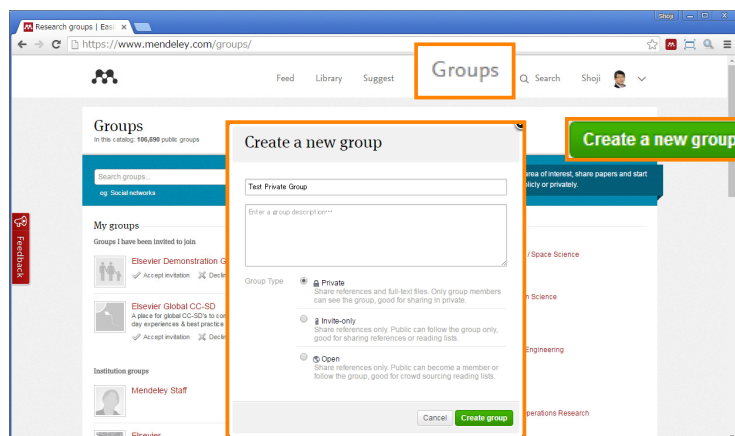
- Mendeleyとは？
 - 文献の追加
 - デスクトップ版
 - ウェブ版
 - デスクトップ版とウェブ版の同期
 - オンラインカタログとSuggest
 - 文献の追加方法のまとめ
 - 文献の利用(ライブラリの管理、PDFビューア、PDFの管理)
 - Wordへの参考文献の挿入
-
- 個人プロフィール、研究者ネットワーク
 - グループの利用
-
- その他のヒント



グループの利用

① グループの種類と作成

グループの種類	投稿できるのは？	閲覧できるのは？	共有できる文献	適した用途
 Private	Ownerに招待されたメンバー 無料版は3名まで ※ アップグレード可能	Ownerに招待されたメンバー	書誌情報＋フルテキスト (PDF)	プライベートな研究プロジェクト
 Invite-only	Ownerに招待されたメンバー 無料版は3名まで ※ アップグレード可能	誰でも	書誌情報	リーディングリストの公開
 Open	誰でも	誰でも	書誌情報	オープンなディスカッショングループ

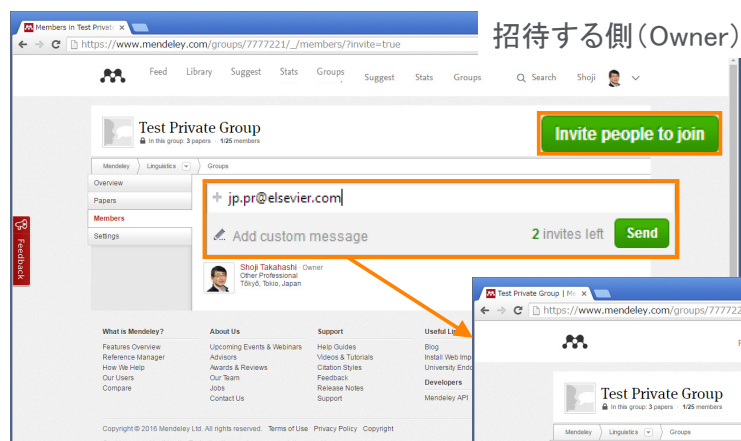


デスクトップ版でもウェブ版でも作成できます

グループの利用

② Privateグループ(1)

- グループを作成したOwnerが他のメンバーを招待します



招待する側 (Owner)



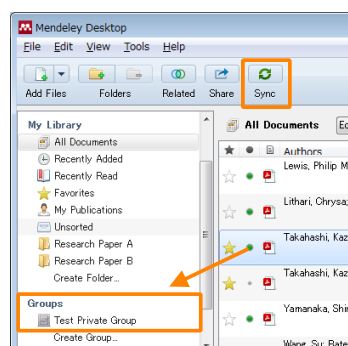
招待される側

招待された人は、[Accept] してグループに参加

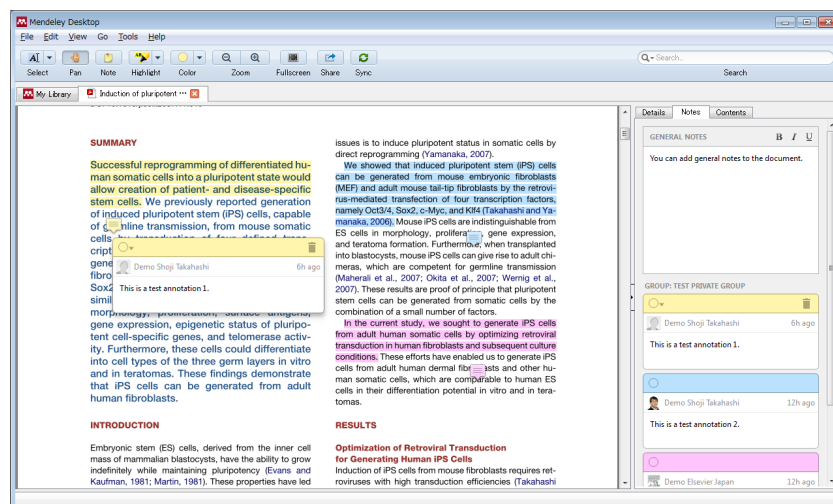
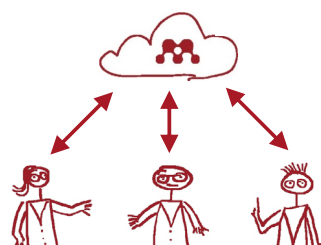
グループの利用

③ Privateグループ(2)

- 書誌情報とPDFを共有することができます(注釈も共有可能)
- 無料版では3人までのグループを1つ作成可能、1人あたりのディスク容量は100MB



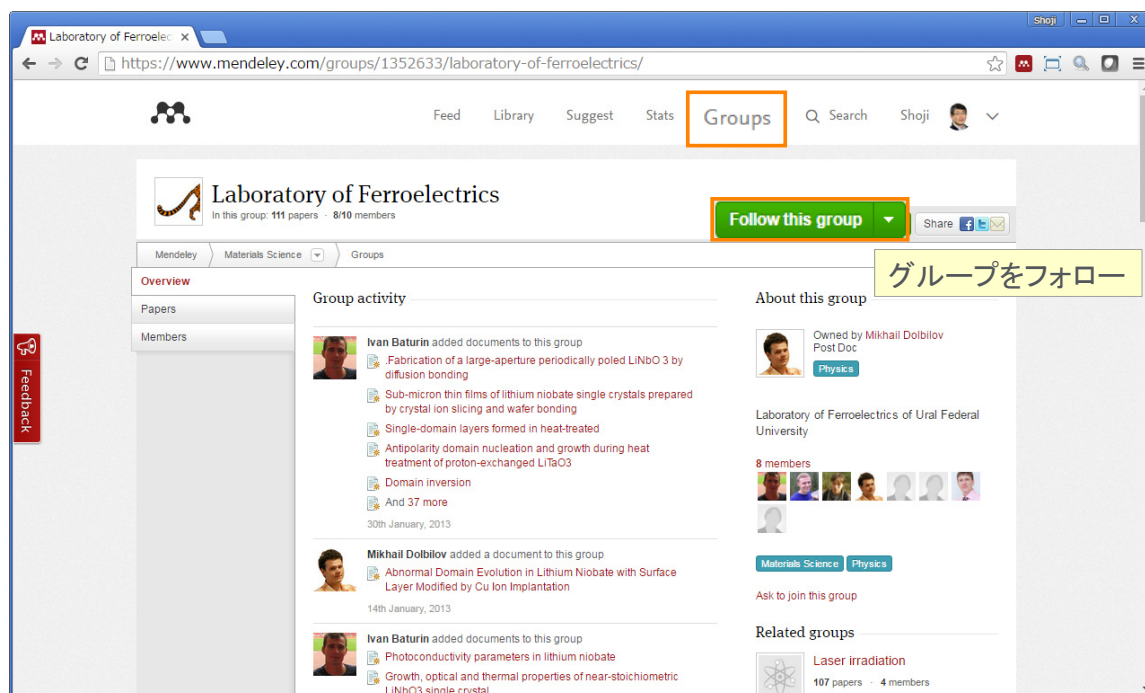
共有したい文献をグループ
にコピー → 同期



グループの利用

④ Invite-onlyグループ

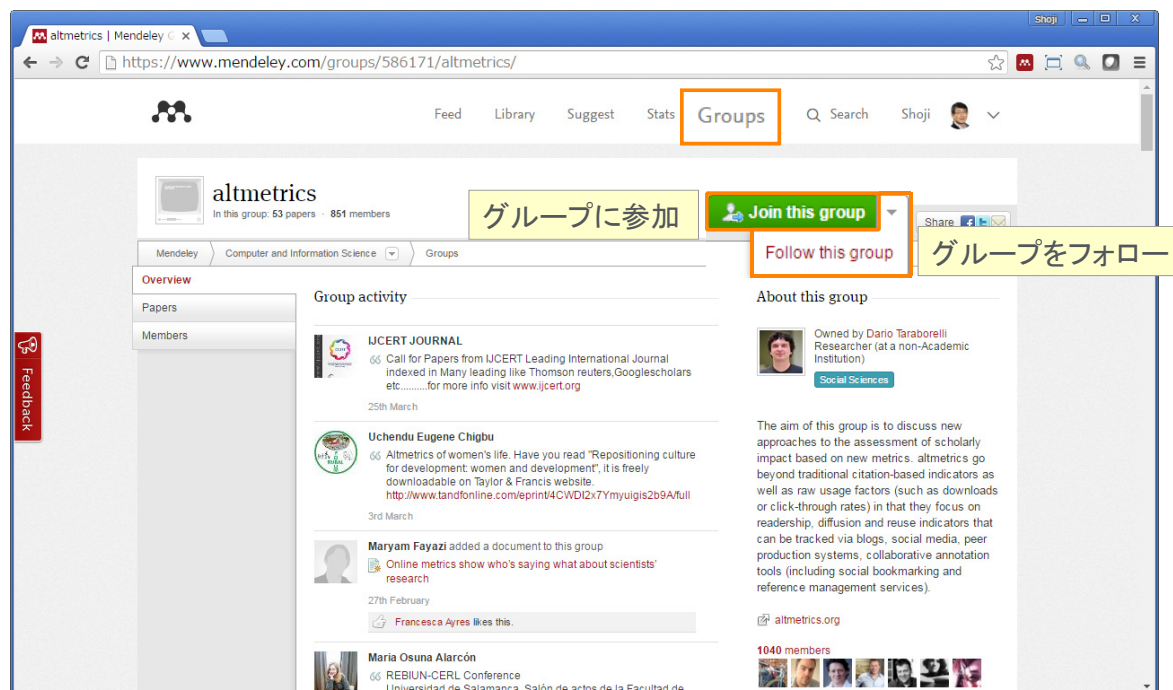
- 研究室の研究成果、リーディングリストの公開に適しています
- 無料版では3人までのグループを1つ作成可能



グループの利用

⑤ Openグループ

- 同じ興味を持つユーザーと情報交換することができます



デモ/実習(9)

A. グループを利用する

1. Privateグループで、複数のユーザーがハイライトと注釈を共有しているPDFを紹介
2. ウェブ版の [Q Search] → [Groups] でOpenグループを検索

本日の講習会

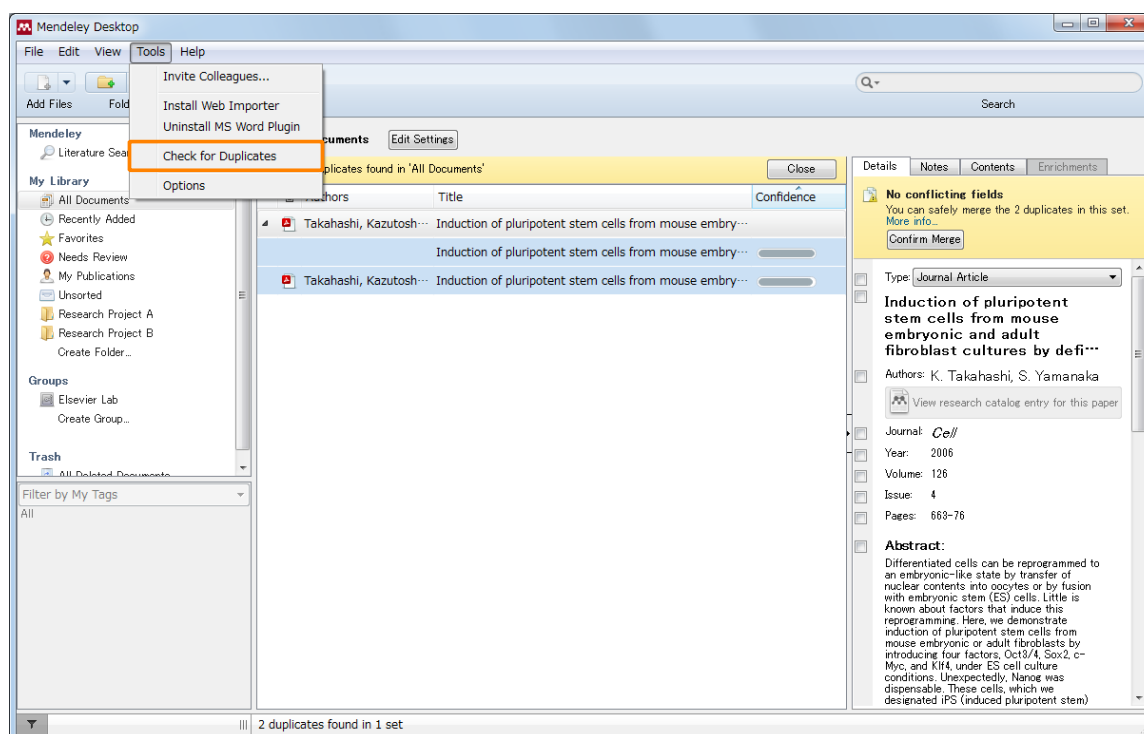
- Mendeleyとは？
 - 文献の追加
 - デスクトップ版
 - ウェブ版
 - デスクトップ版とウェブ版の同期
 - オンラインカタログとSuggest
 - 文献の追加方法のまとめ
 - 文献の利用(ライブラリの管理、PDFビューア、PDFの管理)
 - Wordへの参考文献の挿入
-
- 個人プロフィール、研究者ネットワーク
 - グループの利用
-
- その他のヒント



その他のヒント

① 重複文献の整理

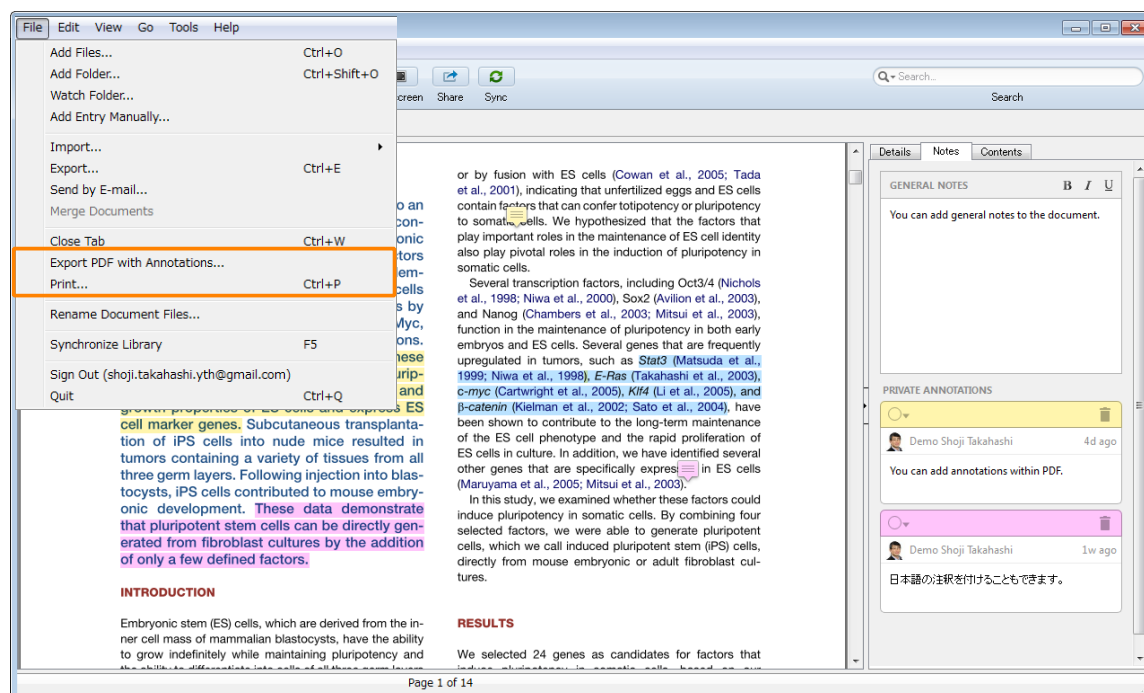
- 重複文献の候補が表示されるので、必要に応じてマージ



その他のヒント

② PDFのエクスポート、印刷

- 注釈付きでエクスポート、印刷するかどうかを選択可能



その他のヒント

③ Mendeleyで取り込んだPDFはどこに保存されるか？(1)

- [File Organizer] → [Organize files] → [Copy files to:] を指定前

ウェブ版経由で取り込んだPDFは下記フォルダに格納される



Windowsの場合:

¥Users¥名前¥AppData¥Local¥Mendeley Ltd¥
Mendeley Desktop¥Downloaded¥

Macの場合:

/Users/名前/Library/Application
Support/Mendeley Desktop/Downloaded/

オレンジは隠しフォルダ



デスクトップ版に直接取り込んだPDFは
元の場所にそのまま残る
(削除するとMendeleyからも削除される)



その他のヒント

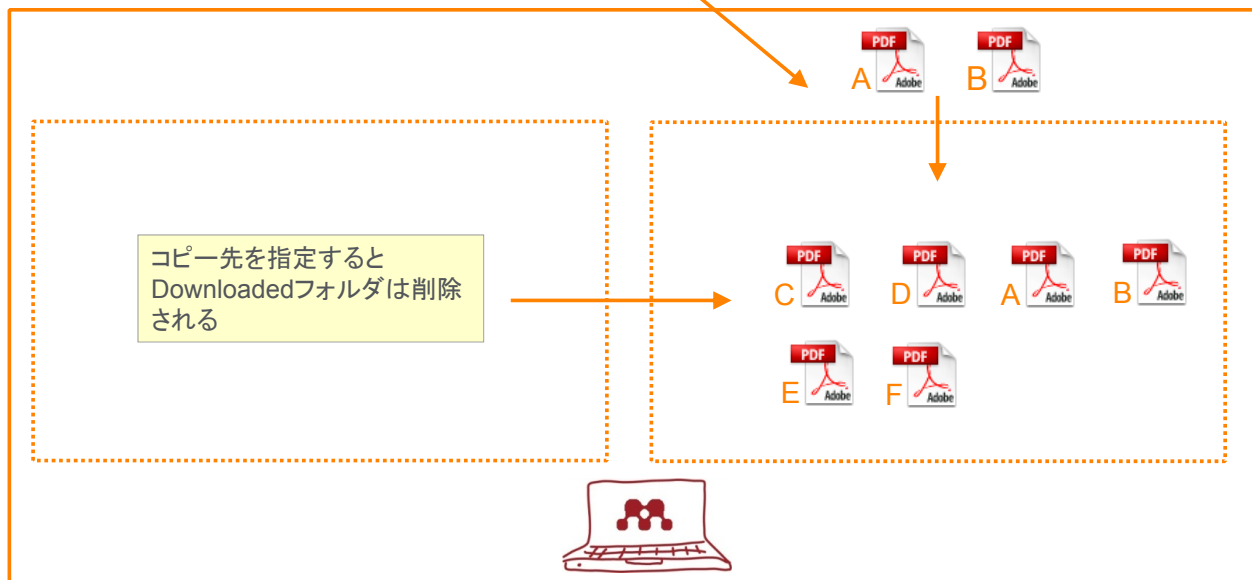
④ Mendeleyで取り込んだPDFはどこに保存されるか？(2)

- [File Organizer] → [Organize files] → [Copy files to:] を指定後

ウェブ版経由で取り込んだPDFもコピー先フォルダに格納される



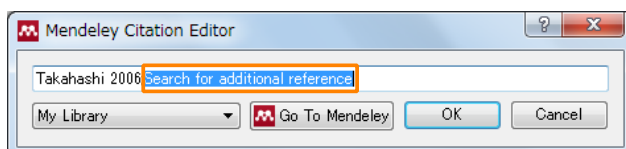
コピーした後は、元のPDFを削除しても大丈夫



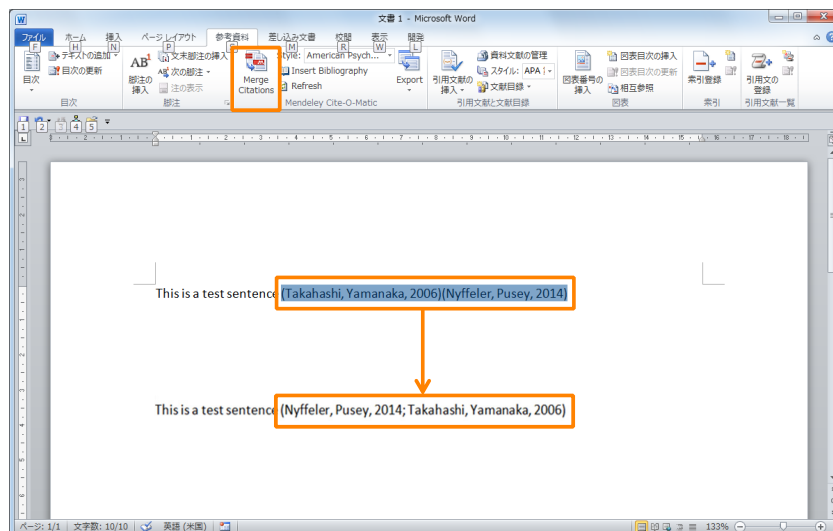
その他のヒント

⑤ 連続した引用符号

- ダイアログボックスで連続して挿入



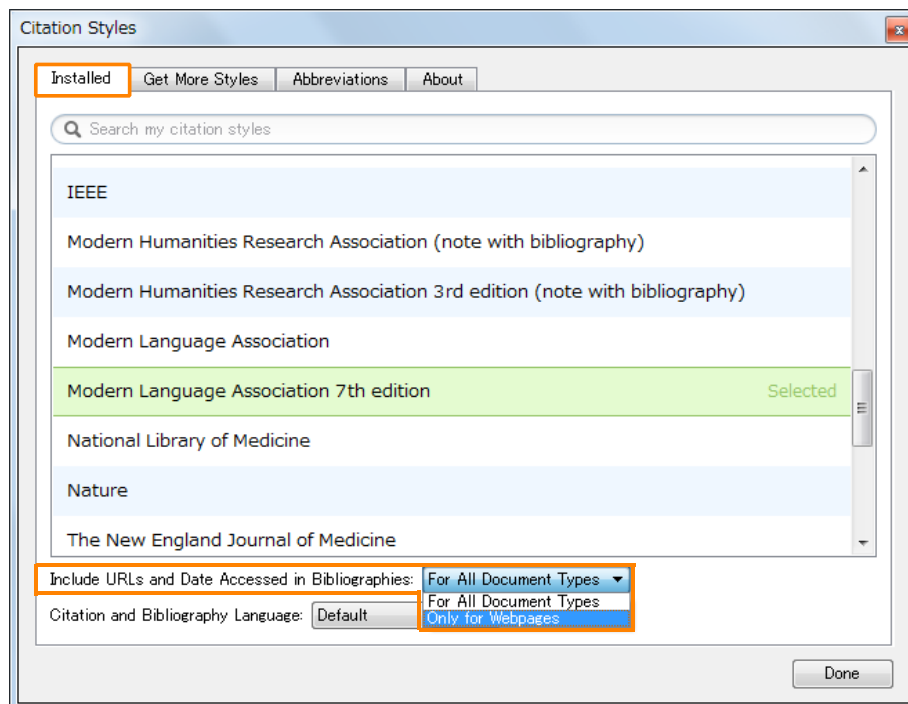
- 複数の引用符号を選択してから [Merge Citations]



その他のヒント

⑥ 参考文献でウェブページにのみURLを含める

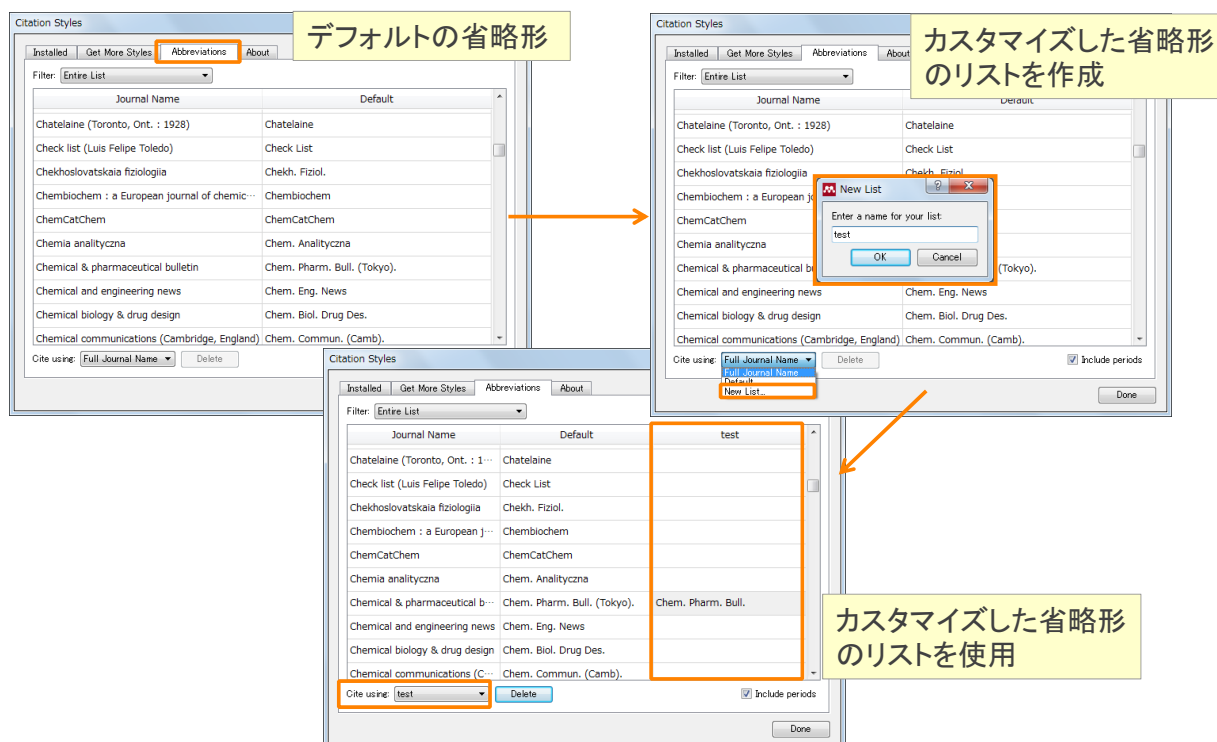
- Include URLs and Date Accessed in Bibliographies: Only for Webpages を選択



その他のヒント

⑦ ジャーナルの省略形

- カスタマイズした省略形のリストを作成可能



その他のヒント

⑧ 希望のスタイルに類似した既存のスタイルを見つける

- CSL Editor (<http://csl.mendeley.com>) の Search by example で検索可能

1. Using the details below...

2. Type a citation in the style you require

2. 必要な引用スタイルを編集します

3. And we'll show you the closest matches.

3. 一致度が高い既存のスタイルが表示されます

1. サンプルとして使用する文献を選択

その他のヒント

⑨ 引用スタイルの編集 (1)

- CSL Editorを使って既存のスタイルをベースに編集可能

Citation Styles

Installed Get More Styles Abbreviations About

Search my citation styles

American Political Science Association

American Psychological Association 6th edition Selected

American Sociological Association Author: Julian Onions - 10/07/26 Use this Style

Biochemistry

Cell

Chicago Manual of Style 16th edition (author-date) Update

Chicago Manual of Style 16th edition (full note)

Include URLs and Date Accessed in Bibliographies: Only for Webpages

Citation and Bibliography Language: Default

Update Style Uninstall Style Edit Style Copy Style Link

CSL Editorにログイン

Mendeley Authorization

MENDELEY

CSL Editor is requesting the ability to access and update data from your Mendeley account.

Email s.takahashi@elsevier.com

Password

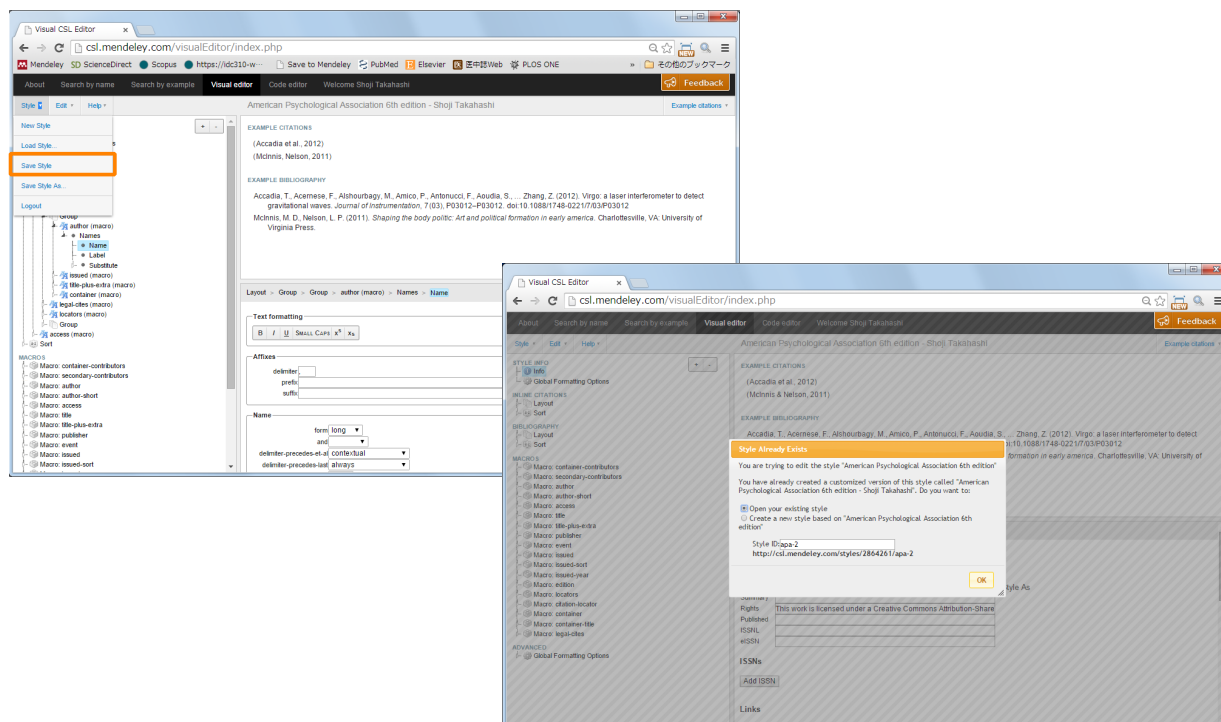
Authorize

Forgot your password?

その他のヒント

⑩ 引用スタイルの編集 (2)

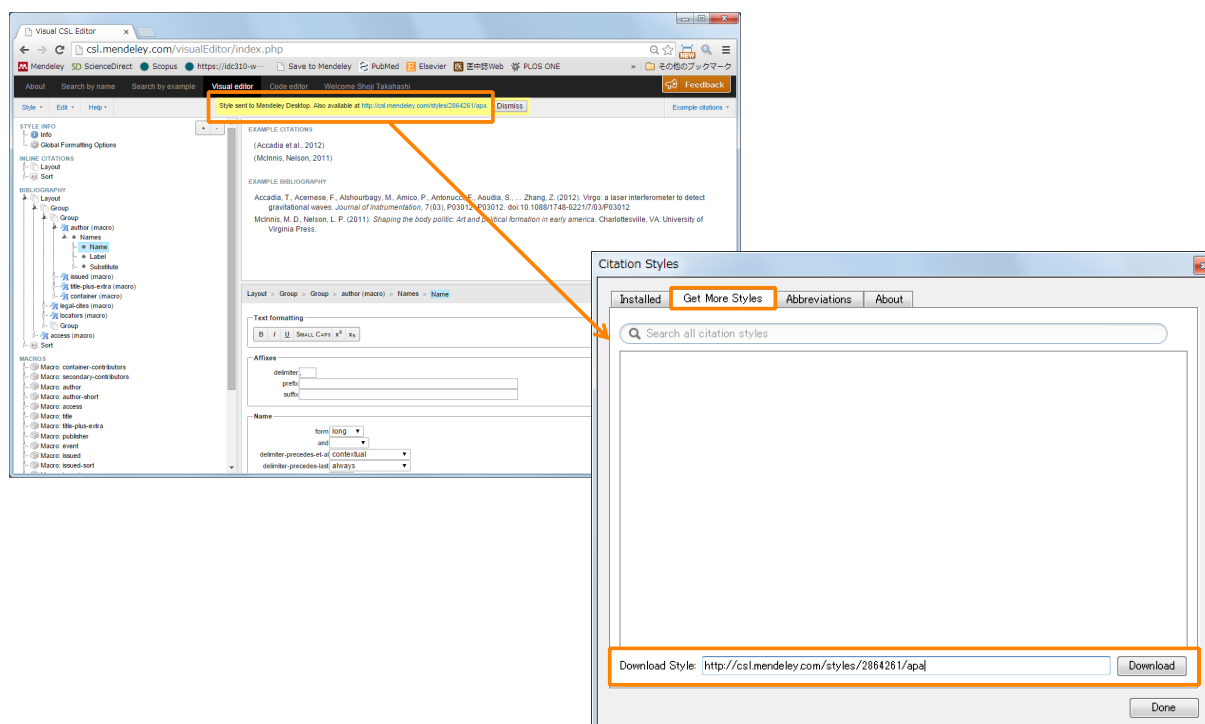
- CSL Editorで編集後、保存



その他のヒント

⑪ 引用スタイルの編集 (3)

- 編集後のスタイルを読み込み



その他のヒント

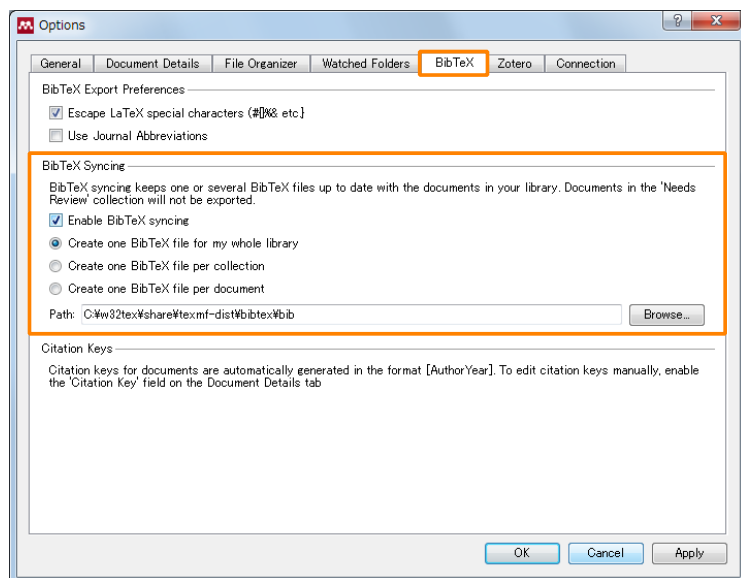
⑫ BibTeXフォーマット: 出力方法

BibTeXファイルにエクスポート

- [File] メニュー → [Export...] でファイルの種類として BibTeX (*.bib) を選択

指定したBibTeXファイルと同期

- Windows: [Tools] メニュー → > [Options] → [BibTeX] タブ
- Mac: [Mendeley Desktop] メニュー → [Preferences...] → [BibTeX] タブ



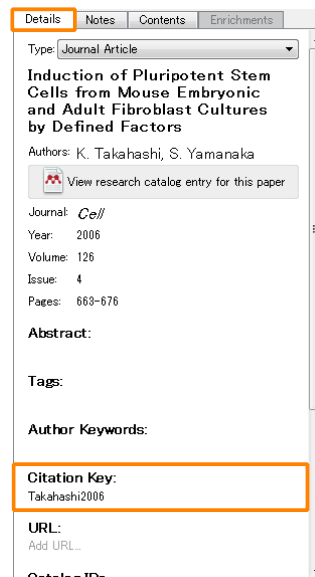
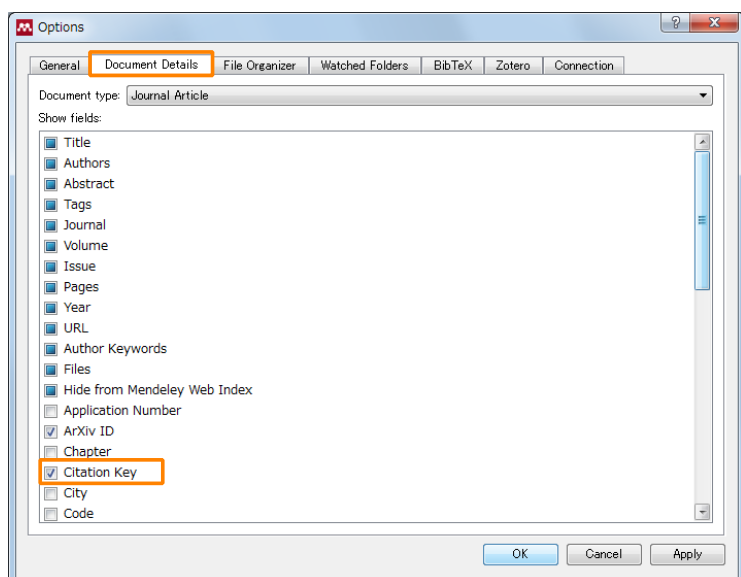
その他のヒント

⑬ BibTeXフォーマット: Citation Key

初期状態ではCitation Keyのフォーマットは [AuthorYear]

フォーマットを変更するには、Citation Key の表示を有効にし、各文献の [Details] タブで編集

- Windows: [Tools] メニュー → > [Options] → [Document Details] タブ
- Mac: [Mendeley Desktop] メニュー → [Preferences...] → [Document Details] タブ

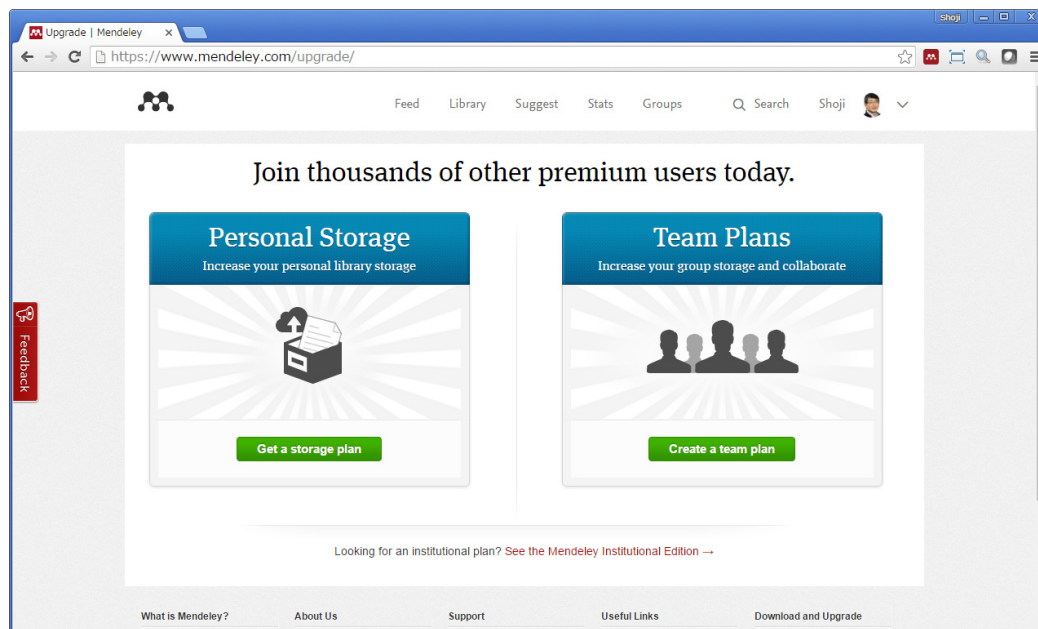


その他のヒント

⑭ 有料版へのアップグレード

- ウェブ版のディスク容量を増やす → Personal Storage
- PrivateまたはInvite-onlyグループのメンバー数を増やす → Team Plans

<http://www.mendeley.com/upgrade>



使い方ガイド、お問い合わせ

- エルゼビア・ジャパン株式会社 (日本語)
 - クイックレファレンスガイド、参考文献スタイルについての情報など
<http://www.elsevier.com/jp/mendeley/users>
- Mendeley Ltd. (英語)
 - 使い方ガイド、ビデオ
<http://community.mendeley.com/guides>
 - FAQ、お問い合わせ
<http://support.mendeley.com>